

平成 29 年度 市民からのご意見

(単位:件)

| 日付 | 賛成 | 反対 | その他 | 計 |
|-----------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 10/26 供覧分(10/16～21) | 4 | 5 | 2 | 11 |
| 10/31 供覧分(10/22～29) | 4 | 3 | 4 | 11 |
| 11/8 供覧分(10/30～11/7) | 3 | 2 | 0 | 5 |
| 11/22 供覧分(11/8～11/20) | 0 | 0 | 3 | 3 |
| 12/8 供覧分(11/21～12/6) | 1 | 1 | 0 | 2 |
| 12/11 供覧分(12/7～12/11) | 21 | 0 | 0 | 21 |
| 2/1 供覧分(12/12～1/31) | 1 | 0 | 0 | 1 |
| 4/3 供覧分(2/1～3/31) | 1 | 1 | 2 | 4 |
| 合計 | 35 | 12 | 11 | 58 |

ご意見シートによる市民からの意見（概要）（10月16日～21日分）

賛成 4件

- (1)・逗子に総合的病院が必要なのは明らかであり、用地もここしかないので、ぜひとも早くできるよう努力してほしい。
- (2)・小児科に初めから力を入れてほしい。小児科の医師が少ないというのも分かるが、それは理由にならない。
 - ・高齢者が多い中で、今日の説明会は素直に受け取れない。早口の説明はわかりにくい。
- (3)・救急車のルートが長く、1分は損するのではないか。北側から入る最短ルートは検討できないのか。
 - ・小児科と産婦人科は将来の逗子市にとって最も必要とされる科である。子育て世代が安心できる環境がないと分かれば、若い方の流出も懸念されるため、両診療科を設けることを要望する。
 - ・用地の有償貸与は、公募条件に反するためできないとのことだったが、小児科と産婦人科を用意することも公募条件ではないのか。約束を守らない業者に対しての甘い姿勢は納税者に対して不誠実だと思う。
- (4)・市役所側の説明と市民の意見交換の時間配分を考慮していただきたい。
 - ・今後も市民説明会を開催し、病院の設立につなげられるよう努力をしていただきたい。

反対 5件

- (1)・公募時の提案書からの変更が著しく、このまま病院誘致計画を進めると大変なことになる。応募資料の2年目の収支計画では、1,600万円の黒字が見込まれているが、現在表明している「原則紹介状持参、完全予約制」とした場合は外来患者収入が減り、8億円の赤字になるはずである。それを見抜けなかった市長及び選考委員の目は節穴ではなかったか。
 - ・来年度以降の基準病床数について、県から説明があったはずだが、当医療圏に「特例」が適用されるか大いに疑わしい。それでも109床で病院開設を強行するのか。
 - ・用途地域変更に際しては、地元の合意形成が必須であるとのことだが、いつ合意形成を取り付けたのか。
 - ・「第一種低層住居専用地域」を「第一種住居地域」に変更した理由は何か。「第一種中高層住居専用地域」でも病院建設は可能である。「第一種住居地域」に変更することで、約2億2千万円もの財産価値を自ら低めることになる。加えて、計画案で言うA地区には病院及びその関連施設以外は建設できない旨の、極めて柔軟性に欠ける記述になっているが、言語道断である。
 - ・新たな地区計画案の区域について、「緩衝帯」を設けるべきである。
 - ・市の「病院建設手法」という文書によれば、「建築基準法第48条の規定により第一種低層住居専用地域には病院建設はできない」と明記されているが、方針を変えるので

あれば、今までの病院誘致政策は重大なミスリードを犯したことになる、市民への説明が必要である。

- (2)・市有地の30年間無償貸与はとても疑問である。もっと無償貸与期間を短くしてほしい。
 - ・今後の財政難を考えると、病院はいらない。
- (3)・アーデンヒル下の第6小学校予定地は、売却すべきである。宅地あるいは建売住宅として売却すれば、そこへ住む人からの税収が見込め、市の財政に寄与することにつながる。
 - ・無償貸与は市にとって何のプラスも発生しない。病院誘致は絶対反対である。
- (4)・用途地域の4段階ものダウングレードによる土地の資産価値の目減りにつき、近隣住民への賠償についてどのように考えているのか。
 - ・市の財政問題をよそに無償貸与はありえない。
 - ・病床数増加への特例などを口にするのは、AOI国際病院への国家戦略特区への優遇が既にあり、加計問題の二の舞になる危険性があるのではないか。
- (5)・葵会の機嫌をうかがいながらやっているのがよくわかった。
 - ・結局どんな病院が出来て、どのような結果、問題が起こるのか分からない。
 - ・皆さんは逃げられても、住民は逃げられない。
 - ・葵会の病院はなぜ精神科がメインで多いのか。
 - ・葵会の態度がふてぶてしい。将来が不安である。
 - ・子供のため、年寄りのための用地利用を望む。貴重な市有地である。葵会は信用できない。

その他 2件

- (1)・路線バスではなく、経費がかからないミニバスを導入してほしい。
- (2)・1月の説明会でご意見シートを提出したが、環境都市部には情報がいと聞いていないと聞いた。関係部署に意見が届かない組織のあり方に憤りを感じる。

ご意見シートによる市民からの意見（概要）（10月22日～29日分）

賛成 4件

- (1)・（ご意見シートについて）何らかの形で回答はいるのではないか。ホームページでも要望と回答の開示が必要。
 - ・アーデンヒル住民に対しては、「かかりつけ医」としての機能をお願いしたい。
 - ・アーデンヒルに入るための右折車線を設置してほしい。右折の際、後方に一般車両が連なったり、緊急車両が停車している時、無理な右折を実行する場合が起こったり、精神的プレッシャーが起こる憂いがある。直進車線があれば、後方に車両がたまらない。
- (2)・現在、認知症型グループホームの介護職員として仕事をしている。医療事務員の経験や、6～7年米国・英国に住んだこともある。年金生活になった時、ボランティアのような形でも、事務方・看護師・医師の間をつなぐ「つなぎ」として、英語を勉強し直し、逗葉地域の医療の現場で役に立ちたいという気持ちがある。
- (3)・新病院で病児保育をやるのであれば、市から多少なりとも費用を出してもいいと思う。
- (4)・アーデンヒル交差点を入ってから渋滞対策を必ず行ってほしい。

反対 3件

- (1)・市長の態度は全く市民の側に立っておらず、葬会の側に立っているのには驚いた。
 - ・病院を誘致するにあたり、実績のある病院ならまだしも、非常に中途半端な病院（失礼な表現で申し訳ないが、病室の配置を見ているだけでもそう思った）を誘致し、それに市の土地を無償貸与するなど、どうかしていると思う。
 - ・Q&Aで市民のニーズがあるとする根拠を、H15の病院機能…報告書というのは、15年も前のものであるし、H26のアンケートは目的の違うアンケートであるので、根拠はないに等しい。
 - ・議会の傍聴にも反対する人のみで、誘致を求める人の姿は見かけたところがないと聞く。
 - ・市長の言う「市民の悲願」とは「市長の悲願」ではないか。市の財産を自分の財産と勘違いしているのでは。
 - ・どこにこの中途半端な病院にぜひ来てもらいたいと願っている市民がいるのか。根拠はどこにもないと思う。説明を聞いていてどんどん不安になってきた。
 - ・こんな病院にただ貸ししていいとは思えない。来てほしくない。逗子が甘く見られているのではないか。
- (2)・医師の確保はできるのか。市長は葬会グループ内から融通して医師を確保できると答えているが、葬会グループの病院のほとんどが療養型で医師は2名程度である。川崎のAOI国際病院は常勤の医師が少なく、専門医の数はこの辺りの病院（大きな病院、小さい規模の病院を含めて）と比べ、非常に少ない。
 - ・このようなことで、「良い医師が確保できる」と言い切れるのか。簡単に調べられるこ

となのに、市は調べていないのではないか。

- ・ 葵会の「重点的関連病院」の説明は全然説明になっていない。約束違反である。
- (3)・ 厚労省はベッド（急性期）を減らそうとしている中、300床のベッド確保は本当に可能なのか再検討してほしい。
- ・ 葵会の評判はブラック企業と聞いている。そんな中、スタッフは確保できるのか。
- ・ 救急対応が他の個人病院と同様では何も期待できない。搬送先にどのくらい困っているのか、他市の病院から受け入れ拒否があるのか示してほしい。
- ・ 財政問題と切り離しては考えられない。止めるなら今である。

その他 4件

- (1)・ 市民の疑問・質問の時間を十分に取るようにしてほしい。
 - ・ 病院誘致に反対するための質問・意見に多くの時間を費やすことのないよう、説明会の本来の目的に反する内容については、司会者は注意して、中断させるようにすべきである。
- (2)・ 乳がんは婦人科では診ない。乳腺外科である。
- (3)・ 市長の「病院は沼間三丁目しかない」という言葉にがっかりしている。
 - ・ 無いお金を使うより、逗子市民が希望している小児科等を、池子に病院を作ることを計画したことがあるのか。
 - ・ 市の職員、市議の方々のプロとしての力と経験を使って、市民のための病院が欲しいと思っている。逗子の隅に病人は来られない。
- (4)・ 分単位の予約に対し、路線バスのバランスはどう考えているのか。
 - ・ 109床の場合、診療科目は13科目対応できるのか。赤字になると思うが。

ご意見シートによる市民からの意見（概要）（10月30日～11月7日分）

賛成 3件

- (1)・駐車場（2段）は機械式か。
 - ・入庫出庫の詳しい説明を分かりやすい場所に表示してほしい。料金・障がい（車）のスペース（入出庫しやすい場所に）・車いすの準備
 - ・院内で軽食できる場所がほしい。
- (2)・都市計画法の説明は不要だったのではないか。
 - ・「災害時の体制」に関しては、市側が津波避難に関する行動基準を策定する中で、病院側の体制の整備に関して関与する必要がある。特に近隣市町村との連携における病院内の体制の整備が求められる。
 - ・ヘリポートを病院内に設置しないのであれば、ヘリポートとして使用する第一運動公園から病院への輸送について検討する必要がある。
 - ・病院の玄関前はバス一台分のスペースと説明していたが、救援活動で派遣されてくる自衛隊の車両が同時に何台まで玄関前に横付けできるのか検討する必要がある。
 - ・今後詳細が決定したならば、各病室内の設計図も開示してほしい（ベッド・テレビの位置、冷蔵庫の有無、ラジオの受信状態、Wi-Fi利用の可否）。
 - ・1階に院内図書館が設置されているが、入院患者及び外来者も利用可能か。各階のラウンジまたはダイニングに入院患者用の図書棚を設置することを検討してほしい。
 - ・退院時の入院費用支払いのため、2階に銀行ATMの設置をお願いしたい。
- (3)・誘致する病院には、脳神経外科と連携を取ってほしい。
 - ・神経内科を設置してほしい。

反対 2件

- (1)・総合病院の建設を希望した市民の一人である。自分が病気になった時、「葬会」病院には行かないと思う。
 - ・公募条件にある「高度で良質な医療」という点で、市はどのような判断基準を持っているのか疑問である。
 - ・災害時の医療活動拠点にするのであれば、一本の陸橋（高架道？）でつながれた逗子市の東南端に位置するアーデンヒル内の土地は地理的に適していると言えるのか。高架部分に地割れ発生等の危険性は普通道より高いのではないか。
 - ・病院建設に伴って、道路整備費用等、市民の税金が使われるのであれば、市民が望む総合病院がどのようなものであるのか、今の逗子の財政状況の中で可能であるのか、根本的な問題を担当課の方の頭に置いた上で、候補として挙がってきた医療機関が「高度で良質な医療」を提供できるという具体的資料を示していただきたい。
 - ・建設予定地は大規模災害の搬入に際して利便性・安全性は確保されているのか検討していただきたい。

- ・2017年11月の同意書の取り交わしは早急だと考え、延期を要望する。
- (2)・葵会はグループの病院において、職員への給料の遅配が発生している。
- ・また、反社会的勢力とも関係があり、コンプライアンス的に問題がある法人である。
このような法人が返子に進出することを憂いている。

ご意見シートによる市民からの意見（概要） （11月8日～20日分）

その他 3件

- (1)・選考委員会のメンバーと専門職は公表されているのか。財務専門家（医療コンサル等）はいるのか。
 - ・過去5年間の財務諸表は検討したということだが、創業する場合は、必ず2年間（短期）なり、10年間（中期）なりの事業計画、収支予算書の検討が必要になる。その検討をしているのか。
 - ・この病院が開業された場合、市の財政にどの程度プラスマイナスになるのか。上記の検討がされれば明らかになるはずである。
- (2)・葵会誘致に市では手続きが進められているが、ほとんどの市民は葵会がどんな病院かどんな評価や病院実績を持っているかわからないままである。殊に命に関する病院なので、市民にもっと各コミセン、自治会等きめ細かく市民説明会を開き、市民に理解を得て、市民意見を最大限反映した病院の進出を求める。
 - ・葵会の財政力は確実かどうか調べ、多額の借金を抱えているという話も聞いているので、開業した→つぶれるということがないように、万全の体制を取ってほしい。
 - ・逗子の財政が来年度マイナス7億円と聞いている。たとえ公募条件で無償貸与としても、状況が変わったとして交渉し、有償貸与にしていきたい。
- (3)・過去に葵会の病院で勤務していたことがある。
 - ・今までで一番ひどい病院だったので、すぐに辞めた。
 - ・逗子市には急性期の病院が来るべきなのに、葵会は急性期が弱い。
 - ・看護の質も悪かった。
 - ・近隣医師に知り合いもいるが、「葵会はちょっとね…」と疑問視している人もいる。
 - ・葵会に来てほしくないが、もう計画が進んでしまっているからどうせ決まっているのだろう。

ご意見シートによる市民からの意見（概要） （11月21日～12月6日分）

賛成 1件

- (1)・全戸配布のチラシを見た。葵会に次のことを要望したい。
 - ①手術で傷口を縫合する際は、ホッチキスは使用しないでほしい。
 - ②売店にはコンビニエンスストアを入れてほしい。
 - ③レストラン、喫茶店は格安の店を入れてほしい。
 - ④額田記念病院で実施している介護が必要な人でも乗れる車を導入してほしい。
 - ⑤衣笠病院で実施している介護保険を使ったりハビリもできようにしてほしい。
 - ⑥診療科目に糖尿病内科を追加してほしい。

反対 1件

- (1)・私は葵会を信頼することができない。葵会は、公募当選後に設計図面の大幅な変更をし、産科をなくす、小児科の救急対応は開院時には無理だとするなど、病院機能についても重大な変更を行っている。
 - ・2016年の「総合的病院誘致について」という資料の中で「小児科の設置を要請するとともに三浦半島全体として不足している産科についても設置を要請します」と書かれており、公募当選後の資料にも「産婦人科」と書かれていた。ところが、現在までに産科は取りやめになり、2017年12月の資料には「市内には2つの産婦人科があり、逗葉地域における出産を担う産科としては充足していると考えています」に変わった。地域の診療所があるから総合病院に診療科目がいらぬというなら、どの診療科目も地域に診療所はある。大災害時の緊急対応は言うに及ばず、生まれてくる命と母親の命を守る観点から総合病院に産科の設置を要請するのは必須条件である。
 - ・葵会について調べたが、高齢者の福祉施設とそれにかかわる病院経営に実績のある事業体であった。関東地方に開設された葵会の病院の中に、産科は一つもない。小児科は2つの病院にあったが、常勤医師は関東地方全体で一人しか確保されていない。逗子市のいう葵会に依拠した小児科医療の充実とは、何を根拠にした言葉なのか。
 - ・病院の設計図面の大幅変更がどのような経緯でされたか分からないが、公募当選図面と現在の図面の大きさは、同じ病院とは思えない。現行の図面の1階部分は、13の診療科目が入る予定とされているが、9つの科目は一つの診察受付から入って、中で10の診察室に分かれるように書かれている。私は診療各科目の受付がない、このような総合病院のつくりを今まで見たことがない。
 - ・入院病棟の4人部屋も20室は窓が中庭に面してしかなく、この中庭は、5・6メートル先に向かいの4人部屋が見えるという、あきれるほど入院患者の心のケアを軽視した構造になっている。なぜ、逗子市はこのような病院の誘致を積極的に進めようとするのか。
 - ・葵会の都合に合わせて当初の逗子市の要請を変更するのは間違いである。公募当選時

の条件を完全に実行できないのであれば、沼間の市有地への葵会の病院の誘致は白紙に戻していただきたい。総合病院の誘致については、功を焦ることなく、長期的に考えて進めていただきたいと思う。

- ・過去のアンケートで「総合病院がほしい」と答えた市民の意見の中に、「三次救急には対応できない総合病院」を想定した市民はほとんどいないと思う。今の医療情勢では、当面三次救急のできる病院は市内に作ることができないのだということを市民に分かりやすく知らせていただきたい（私は地域に高度な医療体制を持った病院がほしいというのは、大災害の対応等を考えても、県や国に要請していく課題と考える）。
- ・市の広報誌に「二次救急輪番制に参加する病院です」と書かれても、多くの市民は具体的に理解できない。大幅な改善と言えるのか。二次救急の輪番制に参加すると、救急搬送される患者数の中の何人くらいの搬送が改善されるのかといった情報を具体的に示していただきたい。救急医療について大幅な改善が望めるのは、その場での処置によって帰ることができる一次救急だけなのではないか。そのためにあの広大な土地の30年間の無償貸与は対価が高すぎる。
- ・市内に総合病院を作るのであれば、大災害時にはそこが拠点病院としての機能を担うという説明も、アンケートを取った時点では問題にされていなかったと思う。沼間の市有地が大災害時に拠点病院として機能する総合病院建設にふさわしい場所かどうかと尋ねられたら、市民は「はい」と答えるか疑問である。私は、沼間の位置とアーデンヒルの入口の高架橋を伴った道路状況から不適切だと考える。財政赤字が大きく問題にされている今、沼間の市有地をどう活用するかは、歳入増加の可能性を持った市の財産としてもう一度検討される大きな問題だと考える。
- ・総合病院の問題は、国の政策が変わってきているということも含め、市民へのていねいな説明と高齢者福祉の問題と併せて、長期的な視野に立った政策の立案を望む。

ご意見シートによる市民からの意見（概要） （12月7日～12月11日分）

賛成 21件

- (1)・人口5万人以上の都市に総合病院が一つもないこと自体、異常である。また、逗子の医院の各診療科に偏りが多く、特に外科は非常に少ない。このようなことで十分な医療は期待できない。他の都市に行かねば救急疾患の治療を受けられないようでは不安である。今や総合病院の設置は不可欠であり、一日も早い実現が望まれる。
- (2)・逗子の街に早く総合病院が欲しい。お年寄りも多いので、総合病院が出来れば安心。
- (3)・総合的病院ができることに大賛成。逗子駅・新逗子駅からのシャトルバスはぜひ必要。
- (4)・できる限り早期の開設を目指して欲しい。近場での受診可能な総合病院がこれからの老人社会にはぜひとも必要である。
- (5)・逗子に転居して、2回入院手術をした。診察は市内のクリニックであったが、手術はできないため、紹介状をいただき、市外の病院に入院した。入院前に何回か検査に通い、退院後も診察のために行く必要があり、時間と交通費をかけて大変だった。
 - ・高齢化が進行する中、ぜひとも実現していただきたい。また、災害はいつ起こるかわからない。災害時に大勢の方の避難や治療が可能となるように準備を万全に願います。地域医療との連携強化も含め、願います。
- (6)・主に市の財政負担についての懸念が残るが、総合（大規模及び高度医療）病院は何よりも優先すべきで、予想される地震などの災害に対応できる施設は必須であると考える。
- (7)・いままで逗子に総合病院がなく、不安な部分があった。ぜひ実現してほしいと思う。過日、他市の病院の医師と話をした折、葵会病院のことを話していたので、もう決めたのかと思った。通院等のことも配慮がある方がよい。
- (8)・ぜひ早く総合病院を設立してほしい。逗子市も高齢化が進んでおり、設立の意義は大きい。個人の家庭でも、費用の面でも設立のメリットは大きい。市内の個々の病院が対処できない高度な医療もこの際考えて進めてほしい。
- (9)・地元で総合病院ができると、とても安心すると思う。
- (10)・市内に病床の多い総合病院が出来るとは賛成である。病気は時を選ばず突然やってくる。高齢者も多く、乳児・幼児にとっても、近場に病院があればと希望する。
- (11)・逗子に総合病院は絶対必要だと思う。一日も早くできることを希望する。
- (12)・高齢の母が「逗子市に大きい病院ができる」と大変喜んでいる。できるだけ早く完成させ、安心させたいと願っている。
- (13)・総合病院の建設に賛成である。救急搬送されるまでの時間が長いと心配。家族が入院することがあった際、お見舞いに行く側にも負担が大きいので、近い方がよい。
- (14)・賛成である。やはり早くしてほしい。反対もあると思うが、いつまでたっても同じようなことでは困る。
- (15)・総合的病院の早期開院を希望する。病院誘致には賛成する。（同様の意見 ほか6件）

ご意見シートによる市民からの意見（概要） （12月12日～1月31日分）

賛成 1件

- (1) ・ 新聞で、平塚市民病院が損害賠償請求をされ、和解金を支払うという記事を読んだ。
 - ・ 同じようなことが起こって、逗子市が多額の賠償金を支払うようなことがあっては大変なので、葵会の病院にも（保険には入るとは思うが）しっかり対策をしてほしい。

ご意見シートによる市民からの意見（概要） （2月1日～3月31日分）

賛成 1件

- (1)・誘致する病院の病院名を教えてください。
 - ・150、200、250、300床ごとの青写真を示してほしい。
 - ・ずるずるとやっていないで、早く病院を建ててほしい。

反対 1件

- (1)・建設計画案のフロア計画を見たが、療養型の中規模病院を建設する計画にしか見えない。
 - ・当初、救急病院ができるという話だったかと思うが ER や、手術室、カテ室や放射線、高性能 CT、MRI を備えた検査室はないのか？
 - ・小児科や産婦人科用の病棟はないのか？
 - ・通常重症患者が下層階のフロアに病棟が配置されると思うのだが、長期入院が見込まれるリハ病棟が最下層にあるのはどうしてか？
 - ・救急病院を将来的には目指すと言っているが、元から療養型・回復期の患者のための病院設計にしか見えない。建設後に変更することはできませんよね？
 - ・入院期間が長くなり、点数を稼ぐ患者も少ない予想で（診療報酬は大きく期待できないだろうという想定で）ベッドの差額で利益を出そうという印象の造りに見受けられる。それにも関わらず緩和ケア病棟も作れないとは、どこに期待すれば良いのか。
 - ・このままこっそり計画変更を重ね、市民の希望とかけ離れた病院を建設されそうで大変失望している。
 - ・そもそも、婦人科は産科とは専門の違う診療科だから、「産婦人科から婦人科への変更」という表現は詐欺に近いとすら思う。
 - ・市内に産科は足りておらず、市外へ出産場所を求めて特にリスクのある妊婦が長時間かけて通院、入院している現実は無視されたままなのか？
 - ・標榜されている診療科が救急病院どころか、一般的な総合病院にも程遠く、とても混乱している。輪番に参加していれば救急病院なのか？それは市民のニーズを満たしているのか？
 - ・医師会会長が「病院が建ってから、あれもできない、これもできないとなって市の理想とかけはなれた時を危惧している。」とおっしゃっている記事を拝見したがまさにその通りだと思う。
 - ・今まで老人ホームを中心にリハビリ病院や、精神科などの特殊な病院運営を行ってきた葵会グループに本当に医師が確保できるのか？
 - ・「医師の確保は政策課題。行政はその問題を解決する責務がある」と市長はおっしゃっているようだが解決のめどはあるのか？まさかお金を積めば医師は呼んで来れるとお考えということはありませんよね。医師免許を持ってさえいれば誰でも良いというこ

ともありませんよね。その医療サービスを楽しむのは他ならない市民である。

- ・近隣の大学病院や、ブランド病院でも医師の確保に事欠き、病棟閉鎖、病床閉鎖していることは周知の事実である。
- ・逗子のようなところに積極的に進出したい総合病院は多くないと思うが、もう少し健全かつ実力のある医療法人などにお願ひできないか再考された方がよろしいかと思う。そのリサーチや交渉を行うのが自治体及び、市長に期待するところである。
- ・ぜひ建物だけ立派で中身のない病院が建ってしまわぬよう慎重にご検討いただけますよう宜しくお願ひ申し上げます。

その他 2件

- (1) ・以前から病院用地の地下水脈の件で意見をしているが、用地の下方にある御霊神社付近の開発現場において、本日の雨の影響もあると思うが、水が出ている状況であった。
 - ・病院を建築する側は、土地の上方の空間を特に意識しているが、地下にも目を向けて考えてほしい。
- (2) ・開設許可申請書を出してから時間が経っているが、いつ許可がでるのか？遅いのではないか。
 - ・ホームページに載っていない情報は、電話で聞くしかないのか？